

第36回SALA研修会

学生協働活動の 可能性と展望

2024年12月14日（土）

13:00～16:30

会場：立正大学(熊谷キャンパス)、配信：Teams

ハイブリッド開催

学生も参加OK！

複数の大学で集まれば、
不可能なことはない…？

時代の変化や多様な学生のニーズに応じた学修支援の提供が求められる中、専任職員の減少や業務の複雑化/肥大化等、大学図書館職員が考えるべき課題が増えているのではないのでしょうか。

また、学生にとっては学内外での多様な立場・年齢の人との対話を通じた活動の実践や経験が充実した学生生活に繋がると考えられます。

“学生”と“教職員”が協力することで双方への効果が期待できる学生協働活動について、SALAでは今年度より、学生協働交流会の実施や全国大学ビブリオバトルの運営など大学間の連携/活動を進めています。活動の効果や課題について有識者の先生方にご講演いただくとともに、高等教育機関だからこそ行える“学びや社会貢献の機会(学外協力や地域連携)の提供”、“SALAにおける学生協働活動連携の可能性(波及効果や相乗効果)”等について、各大学の事例報告やパネルディスカッションを通じて考える機会に出来ればと思います。

第一部 講演『学生協働活動を行う学生への効果』

第二部 講演『学生協働活動におけるあるべき姿と課題について』

第三部 講演『SALA 学生協働連携の可能性について』

第四部 学生協働団体（学生）による活動紹介

第五部 パネルディスカッション（講演者/学生/職員）



青山学院大学
野末 俊比古氏



大学図書館支援機構
豊田 哲也氏

お申し込み・お問い合わせ

※講演タイトルはすべて仮題のため、
確定次第お知らせいたします

参加希望者の方は以下QRコードもしくはURLよりお申込みください。
会場参加の場合、人数に制限がございますのでご了承ください。



申込期限：11月29日（金）18:00

<https://forms.office.com/r/xva33RVqx1>

埼玉県大学・短期大学図書館協議会事務局（研修会担当）

E-mail：sala_kanji_ml@sala.gr.jp